

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	むく		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 9日		～ 2025年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 9日		～ 2024年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重心型の事業所という点では、多職種間の連携が常に取れていて、メンバーにとって安心安楽に過ごすことができる環境にある 医療との連携が図りやすいため、体調面での不調等があった時にも安心していただける	看護師はメンバーの体調や情緒面での観察、訓練士は身体機能の維持向上を意識したアプローチ、保育士、児童指導員はメンバーの主体性を引き出せるような関わり、これらを共有し、協働している 4月にはアセスメントシートを更新し、医療が必要になった時にすぐ個人の情報提供ができるよう整えている	多職種の役割をそれぞれがより理解し、時にはサポートに回ったり般化したり、児発管を中心に支援を深めていきたい 医療にかからなくても良い環境、体制作りを意識する
2	児発から放デイ、生活介護まで一貫した支援が受けられる スムーズな移行ができる	放デイは中間地点の引き継がれ、引き継いでいく所なので、本人の強みを活かし繋げていくことを意識している また、学校生活が主となるため、公開授業等の機会を活用し、情報収集に努めている	学校生活の間に身につけておきたいコミュニケーションスキルを共有し、社会生活に繋がられるよう意識した支援を心掛けたい
3	ご家族からの苦情はチャンスだと思い、体制の見直しに努めている	内容を問わず、全てにおいて真摯に受け止め、どのように対応したらよかったのかを振り返る機会としている	メンバー、ご家族に安心していただけるよう、開かれた関係が継続できるよう情報共有の徹底に努めていきたい

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブや地域の子どもたちとの交流が困難	体調面、非言語コミュニケーションなど、地域の子どもたちとの交流の機会を設定するのが困難で課題と感じる	地域行事に参加し、生活圏内に私たち地域生活を知っていただけるよう、参加型の交流を目指したい
2	保護者同士の交流やペアレントトレーニング等、機会の提供ができていない	働かされている家庭が大半で、時間の都合がつかず全体というわけにはいかない状況にある ペアレントトレーニングに関しては、医療的ケアや身体的ケアなど、既に専門職の指示指導が入っておられるため、助言や気づきの報告に留まっている	メンバーのプラスの変化があった事を伝え、その時の支援の工夫や家庭でも般化できそうな内容を意識的に提案できるようにしたい
3	法人一体的に送迎を行っているため、個別対応が困難	車両や運転手、添乗員の人員配置の問題 医療的ケア児が乗車する場合の、看護師の添乗が困難	メンバーの特性等への配慮をしながら、個別対応ができる体制づくりをしていく